

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センター こども療育研究室Lulu North & Side (保育所等訪問支援)		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 1日		2025年 2月 22日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	109	(回答者数) 56
○従業者評価実施期間	2025年 2月 1日		2025年 2月 22日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○訪問先施設評価実施期間	2025年 2月 1日		2025年 2月 22日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	55	(回答者数) 28
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保育所等訪問を利用している児童は大半が、同一事業所の放課後等デイサービス、児童発達支援を利用しており、連携が図れるところが強みと考える。	保育所等訪問に入り、園や学校生活の様子を伝え、事業所内での支援が、実生活につながるように、連携を図っている。	訪問支援員が必ず参加できる時間に振り返りなどを行う時間を作り情報共有を図っている。
2	理学療法士、作業療法士、言語聴覚士の訪問支援員が在籍しており、専門的な知識を有するスタッフが、利用児童の困り感に合わせて訪問できる体制を整えている。	多角的に視点で、児童のアセスメントができるように、他職種で連携しながら保育所等訪問支援を行なっている。	グループ企業の中に保育所等訪問支援Koaという事業所があり、合同で症例検討をしています。
3	児童発達支援センター併設の保育所等訪問支援事業であるため、児童発達支援センター内で行われている研修や研究駆動などにも積極的に参加し、自己研鑽に努めている。	訪問した際に根拠に基づく分析や、助言ができるよう、定期的に勉強会に参加したり、書籍・文献などの裏付けなども取りながらアセスメントするように心がけている。	書籍、文献、生活や学習に必要な補助具などを購入し、スタッフが勉強や支援にすぐに活かせるような環境づくりをしている

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	契約児童数に対して、訪問支援員の人数が十分ではなく、保護者さんの満足のいく回数だけ、保育所等訪問が行えていない。	訪問支援員として、対外的に学校や園へ、専門的なアドバイスや指導ができるスタッフの人材育成が必要である。それに伴う訪問支援員の人数の拡充を図っていく	通所のスタッフも、保育所等訪問の現場に出向き、実生活の場を見ることによって、通所内での支援を充実させながら、保育所等訪問支援に必要なスキルを習得していく。
2	保護者や事業所向けの研修会を外向けに行っていますが、ペアレント・トレーニングなどのプログラムがなく、訪問支援だけではなく、家族支援の充実を図っていく必要がある。	電話やLINEで情報共有を行なって、個別での支援を行なっていますが、各児童の家族が悩みを打ち明けられたり場の設定や、実際のご家庭での支援方法が充実するように、子どもへの接し方などの勉強会を企画していきたいと思う。	事業所の連携しながら、保育所等訪問支援の立場からもペアレント・トレーニングなどのプログラムを作成し、家や学校、園での生活へつながるような勉強会やワークショップ、サロンなどを企画していきます。
3	保育所等訪問支援でのフィードバックが学校や園へタイミング良くできないことがあり、フィードバックのタイミングやフィードバック仕方など今後の課題である。	個人情報の観点から保護者より訪問記録の共有の許可が得られている児童に関しては、書面にて訪問施設への情報共有をさせていただいている。	年に数回(夏休み・冬休み・春休みなど)時間の余裕がある日があれば、学校や園と支援会議などを会議を実施しながら、日頃できていない情報交換の場を設けていく。

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名	児童発達支援センター こども療育研究室Lulu North&Side (保育所等訪問支援)	公表日	2025年 3月 10日
		利用児童数	109
		回収数	56

	チェック項目	回答状況				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	29	2	0	25		書籍や訪問時の補助具（食事・座位保持など）は必要に応じて購入し、必要な児童がいた場合には実際に園や学校で試してもらっています。
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	46	1	0	9		保護者の面談などの際にはミーティングルームを活用して行っています。
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	51	4	0	1		契約の際には、保育所等訪問支援の介入までの流れや直接支援・間接支援について説明し、どのような職種が介入するかなども説明させて頂いています。
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	45	9	1	0	訪問回数をもっと多くしてほしい	保護者さんの希望のもとに、園や学校を訪問させて頂いた際の必要性に応じて訪問させて頂いています。訪問支援員の数が十分でない部分もあり、訪問支援に出来るようスタッフの教育を行っています。
適切な支援の提供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	41	5	0	10		訪問支援員の人数が十分でない部分もあり、訪問支援に出れるスタッフの教育も行って、訪問の質の向上に努めています。
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	52	1	0	2		障害特性に対しては勉強会も行い、特性に対する対処法など理解した上で、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・保育士が連携しながら多角的視点で訪問を行っています。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	51	4	0	1		大半が放課後デイ・児童発達支援の事業所を利用している児童であり、事業所の様子・園や学校の様子をすり合わせしながら個別支援計画を作成しています。
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	38	4	1	13		訪問時に園や学校での問題点や、ストロングポイントを共有しながら、個別支援計画書の作成しています。
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	43	1	0	11		計画書に具体的に書けず、包括した表現を使ってしまう場合がありますが、本人の課題に合わせて具体的な支援内容を目標設定出来るように努力していきます。
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	48	3	0	5		日頃から訪問支援員が児童発達支援管理責任者と連携をとることで、保育所等訪問支援計画に沿った支援が行えるように努力しています。
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	49	2	0	5	支援の内容ではなく、加配などのことに関しては言われても対応できない部分があるので、担当者会議では言わないでほしい。	訪問先には事前に挨拶に伺い、園や学校の方針、環境や人員配置など配慮などに配慮しながら、各現場で可能な支援方法の提案などをさせて頂いています。
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	54	1	0	1		重要事項説明書を用いて、利用負担額や、訪問時の身体拘束の同意書なども含めて説明させて頂いています。
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	49	4	0	2		児童発達支援管理責任者から更新月に、説明させて頂いています。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	19	11	8	18		当事業所では年に1～2回程度ですが、保護者や事業所向けの研修会を外向けに行っています。県内の研修会などの案内や、ペアレント・トレーニングなどにも力を入れていきます。
	15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	51	2	1	2		毎回訪問した際には、訪問記録を作成し、保護者との共有を図り、保護者の悩みに関しては訪問支援員がLINEなどでタイムリーに対応できる環境づくりを行っています。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	38	9	4	4		毎回訪問した際には、訪問記録を作成し、保護者との共有を図り、保護者の悩みに関しては訪問支援員がLINEなどでタイムリーに対応できる環境づくりを行っています。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	48	4	1	3		園や学校などとご家庭、療育事業所が三位一体になって支援できるように、スタッフ指導を行っています。
	18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	49	6	0	1		常に複数名・訪問支援が在籍しており、一人のスタッフで解決しないことなどについては、上司や多職種と連携して指導できる環境が整っています。
	19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	53	1	1	1		可能な限り、専門用語を使わず、わかりやすい言葉で説明しています。言葉だけでわかりにくいものに関しては視覚的な情報提示で説明しています。
20 事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	51	1	1	3		質問された内容に関しては、その場でお答えできなかった内容に関しても理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・保育士が連携しながら多角的視点でお答えできるように努力しています。	

	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	40	3	0	11	施設や学校などにて必要に応じて、ケース会議を相談員に依頼して開いたりしている
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	52	3	0	1	毎回訪問した際には、訪問記録を作成し、保護者との共有を図り、保護者の悩みなどに関しては訪問支援員がLINEなどでタイムリーに対応できる環境づくりを行っています。
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	41	3	0	12	保育所等訪問に関しては今年度より開始しています。
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	50	2	0	3	LINEでの訪問記録のやり取りのどがなくなり、訪問記録のやり取りが専門のアプリになったことでSNSを介した個人情報の漏洩の危険性も低くなってきています。
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	39	4	0	13	直接支援に入る際は、学校や園の許可を得てから介入を行っている。万が一に備えて損害賠償保険などにも加入させて頂いています。
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	50	2	0	4	児童の支援で予測される身体拘束・静止などの行為に対しては、身体拘束の同意書をとる、計画書にも明記しています。
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	44	6	3	3	第一に子どもの意思を尊重しながら、子どもの気持ちに寄り添いながら支援をしていきます。
	28	事業所の支援に満足していますか。	50	5	0	0	事業所やグループ内で、スタッフの研鑽の場を設けながら、さらなる満足度の向上に努めてまいります。

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日			2025年 3月 10日	
児童発達支援センター こども療育研究室Lulu North&Side (保育所等訪問支援)		施設数			55	
		回収数			28	
チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
1 訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	16	11	0	<ul style="list-style-type: none"> 見学が中心だった為、助言や説明を受けるよりも情報共有という感じで行っていました。 助言内容が1対1でのやり方であったりするので、集団だと難しいこともありま 担当の方が短い期間で変わられるので、助言よりもこちらから本児の状況を伝えることが多いが多かった。 事業所での姿や取り組みを尋ねた際に、把握されていない様子だった。今後は、 	多角的な支援で見せていただくために担当を決めずに複数名で関わらせて頂くこともあり、連携や情報共有の面でご迷惑おかけしました。より現場に沿った助言・説明に努めてまいります。間接支援・直接支援などのタイミングや割合などについても訪問支援員の教育を行っていきます。	
2 訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	16	12	0	<ul style="list-style-type: none"> こちらの支援を見てもう事が多かったため、支援員の方の支援方法等を見せてもらう機会がなかったのが残念でした。次回機会があればお願いしたいです。 訪問支援員の方とお話する時間が少なく、知識・技術についてはどちらとも言えない。 	お忙しい時間の中にフィードバックの方法などの工夫が必要でした。事業所でのフィードバック（先生方との話す機会の設定）の仕方については検討していきます。	
3 訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	21	6	1	<ul style="list-style-type: none"> 質問をするよりも、されることの方が多かった。 	質問するばかりではなく、先生方の困り後を聴く意識をもって、改めて訪問させて頂きます。	
4 保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	18	10	0	<ul style="list-style-type: none"> 課題や困りごとが解消または軽減については、まだ期間も短く、どちらとも言えない。 	課題や困りごとが解消できるように、さらなる事業所内での、研修などを介して自己研鑽に励んでいきます。	
5 事業所からの支援に満足していますか。	20	8	0	<ul style="list-style-type: none"> 本児が成長したことで困り感が少なくなったということもあるが、支援というより見学に来られるという印象だった。 この1年間で発する言葉数も増え、友達との距離感など課題だった部分が、少しずつ改善してきた。 また、期間も短く、事業所からの支援について、どちらともいえない。 	課題や困りごとが解消できるように、さらなる事業所内での、研修などを介して自己研鑽に励んでいきます。	
その他のご意見				ご意見を踏まえた対応		
<ul style="list-style-type: none"> 学習の様子を見てもう事が多く、相談を助言を求める機会がありませんでしたが、共通理解して取り組むことで、子どもの成長が見られたり、一緒に喜んだりする機会となったと思います。見学された際の感想等と学校にも紙面等で頂けたら、課題解決の手がかりになると思います。 報告書の提出を確実にお願いしたい。 				限られた時間でのフィードバックは、訪問支援員としても課題であり、十分なフィードバックができないことも多々ありました。個人情報の観点からも保護者に情報共有の許可を頂き、可能な際には報告書の提出を園や学校にも行っていきたく思います。学校や園の先生方からも、ご意見を頂きながら、効率的にフィードバックや意見交換ができる方法を検討していければと思います。		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援センター こども療育研究室Lulu North&Side (保育所等訪問支援)		公表日	2025年 3月 10日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
環境・ 整備・ 運営	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	6	1	書籍や訪問時の補助具(食事・座位保持など)は必要に応じて購入し、必要な児童がいた場合には実際に園や学校で試してもらっています。	さらに物品の購入・児童や園・学校が購入前のレンタルとして貸し出しができる状況を作っていきます。
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0	訪問の必要性の高い児童から訪問し、契約している児童に平等に訪問できるようにしている。	さらなる訪問指導員の拡充と質の向上を図っていきます。
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	0	定期的にミーティングを行い、訪問や間接業務で見えてきた改善策については各自分析を行い、改善策を出し合い業務効率化質の向上に努めています。	現在の方法を継続して行なっています。
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	今年度から保護者アンケートを開始しています。相談支援員からの家族の満足度などのフィードバックはいただいています。	年に数回、保護者の要望や満足度調査をなども行なっていければと思う。
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	2	相談員や関連事業所からは担当者会議にて情報共有させていただき、訪問のする際の参考にさせていただいています。	現在の方法を継続して行なっています。
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	0	グループ会社の保育所等訪問支援Koaと情報交換する場などを設け、お互いの良いところや改善点を共有しながら業務改善に繋げている。	現在の方法を継続して行なっています。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	法人全体の研修会の勉強会に加え、保育所等訪問の研修を、初任者研修から、事例検討などグループ会社の保育所等訪問支援Koaと一緒に進めている。	現在の方法を継続して行なっています。
適切な 支援の 提供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	7	0	大半が同事業所の通所サービスを利用している児童であり、保育所等訪問がないときはミーティングなどを参加し、目標や課題の共有を行っており、その内容が保育所等訪問支援計画に生かされています。	現在の方法を継続して行なっています。
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	大半が同事業所の通所サービスを利用している児童であり、保育所等訪問がないときはミーティングなどを参加し、目標や課題の共有を行っており、その内容が保育所等訪問支援計画に生かされています。	現在の方法を継続して行なっています。
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	6	1	園や学校の規模、加配の人数、環境、教育方針などを考慮しながら、園や学校での目標設定や課題の抽出を行なっています。	現在の方法を継続して行なっています。
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	1	HUGという療育に特化したアプリ上で個別支援計画の共有を図り、パソコンがあればいつでもどこでも確認できる環境があります。	現在の方法を継続して行なっています。
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0	保育所等訪問の中ではインフォーマルなアセスメントが主ではあるが、書籍や文献などから裏付けをしたり、個人の主観的な意見にならずに、科学的根拠を基に支援できるようにスタッフ間で意識しています。	現在の方法を継続して行なっています。
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	計画書に具体的に書けず、包括した表現を使ってしまう場合がありますが、本人の課題に合わせて具体的な支援内容を目標設定出来るように努力しています。	個別支援計画で支援内容など包括して書かず、具体的に内容を記載し、家族や本人にわかりやすい表現法をて記載していくよう努めます。
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	1	HUGという療育に特化したアプリ上で個別支援計画の共有を図り、パソコンがあればいつでもどこでも確認できる環境があります。	現在の方法を継続して行なっています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	1	前回の訪問した際の課題やアセスメントした内容から、多角的な視点で支援ができるように職種を変えて訪問することもあります。訪問に行く前に通所スタッフから、情報収集を行い課題の割り合わせなどを行い訪問に行くようにしています。	現在の方法を継続して行なっています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	2	訪問で気になったことがあれば、通所などでの活動に反映されるように、情報共有を行なっています。	現在の方法を継続して行なっています。
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	7	0	訪問先には事前に挨拶に向い、園や学校の方針、環境や人員配置など配置などに配慮しながら、各現場で可能な支援方法の提案などをさせて頂いています。	現在の方法を継続して行なっています。
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	7	0	毎回観察した内容、観察した内容に対するアセスメント、課題に対する支援豊富などをまとめて書くようにしている。	現在の方法を継続して行なっています。	
19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しを行なっている。	現在の方法を継続して行なっています。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	訪問機会の多い訪問支援員が参加し、万が一参加できなかった場合は児発管へ申し送りを行って参加してもらっています	現在の方法を継続して行なっています。
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0	保育、教育等の関係機関向けの研修会などを、事業所でも行なっています。保育所等訪問支援単体としては、病院などで行われる担当者会議やカンファレンスにも積極的に参加しています。	現在の方法を継続して行なっています。
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0	移行連携もスムーズに行えるように、学校に上がる前に情報提供種を作成したり、相談員に担当者会議を開いてもらい児童の特性理解、支援内容の共有などに努めています。	現在の方法を継続して行なっています。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	5	2	希望したスタッフには研修会費用の補助などを行なっています。非常勤講師による事業種ない勉強会を行なっています。	定期的に外部研修に参加できるように促していきます
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	7	0	主として児童発達支援管理責任者が参加している。	現在の方法を継続して行なっています。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	毎回訪問した際には、訪問記録を作成し、保護者との共有を図り、保護者の悩みに関しては訪問支援員がLINEなどでタイムリーに対応できる環境づくりを行っています。	現在の方法を継続して行なっています。
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	2	北区事業所では年に1～2回程度ですが、保護者や事業所向けの研修会を外向けに行っています。	県内の研修会などの案内や、事業所でのペアレント・トレーニングなどにも力を入れています。
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	1	重要事項説明書を用いて、利用負担額や、訪問時の身体拘束の同意書なども含めて説明させて頂いています。	現在の方法を継続して行なっています。
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	7	0	事業所で、保育所等訪問支援についての説明用リーフレット作成、保育所等訪問支援について説明するとともに、熊本市の入校・入園依頼書を作成して、それに沿って訪問の目的や趣旨を説明してから訪問を開始しています。	現在の方法を継続して行なっています。
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	契約した際や、モニタリングの際にはヒアリングを行い、こどもや家族の意向を確認しています。	現在の方法を継続して行なっています。
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	7	0	児童発達支援管理責任者から更新月に、説明し、同意を頂いています。	現在の方法を継続して行なっています。
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	7	0	毎回訪問した際には、訪問記録を作成し、保護者との共有を図り、保護者の悩みに関しては訪問支援員がLINEなどでタイムリーに対応できる環境づくりを行っています。	現在の方法を継続して行なっています。
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	2	年に2回程度の事業所主催に研修会のみで、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援があまりできておらず、ペアレントプログラムなどの活動を含めて検討していきたいと思っています。	ペアレントプログラムなどの活動を含めた家族向けのイベントを検討していきたいと思えます。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	常に複数名・訪問支援が在籍しており、一人のスタッフで解決しないことなどについては、上司や多職種と連携して、相談に乗る体制が整っています。	現在の方法を継続して行なっています。
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	1	LINEを利用することにより、電話より気軽に、タイムリーに情報発信ができるような環境を整え、保護者へ訪問時の様子や共有したい支援方法などを発信しています。	現在の方法を継続して行なっています。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	1	情報提供書などファイリングし、鍵付きの書庫で保管しています。ケース会議などの時以外は持ち出していません。	現在の方法を継続して行なっています。
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	可能な限り保護者やお子さんでも、わかりやすいように専門用語をしないように、本人の意思検定ができるようにわかりづらいうちに関しては画像などで細く説明しています。	現在の方法を継続して行なっています。
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	7	0	常に複数名・訪問支援が在籍しており、一人のスタッフで解決しないことなどについては、上司や多職種と連携して、相談に乗る体制が整っています。	現在の方法を継続して行なっています。
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	5	2	園や学校の時間余裕がある期間にカンファレンスなどを積極的に行なっています。特性理解や、ライフステージの変化に伴う課題などが多い場合には相談員に依頼して、話し合いの場を設けてもらっています。	現在の方法を継続して行なっています。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	7	0	毎回訪問した際には、訪問記録を作成し、保護者との共有を図り、保護者の悩みに関しては訪問支援員がLINEなどでタイムリーに対応できる環境づくりを行っています。	現在の方法を継続して行なっています。
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	情報提供書などファイリングし、鍵付きの書庫で保管しています。ケース会議などの時以外は持ち出していません。	現在の方法を継続して行なっています。

	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	7	0	質問された内容に関しては、その場でお答えできなかった内容についても理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・保育士が連携しながら多角的視点でお答えできるように努力しています。	現在の方法を継続して行なっています。
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	法人グループ内で各種委員会を立ち上げ、マニュアルに沿った研修会を定期的に行い周知しています。	現在の方法を継続して行なっています。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	各事業所でもマニュアルやBCPIに沿った避難訓練や、スタッフ間でのシュミレーションなどを行っています。	現在の方法を継続して行なっています。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	管理者でヒヤリハットかインシデントアクシデントの見極めを行い、用紙に記載し、全体での共有を行っています。	現在の方法を継続して行なっています。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	1	法人グループ内で各種委員会を立ち上げ、身体拘束や虐待防止、ハラスメントなどを防止するための研修会を定期的に行なっています。	現在の方法を継続して行なっています。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7	0	児童の支援で予測される身体拘束・静止などの行為に対しては、身体拘束の同意書を取り、計画書にも明記しています。	現在の方法を継続して行なっています。